

PTA会長

水谷 華惟子

今年度PTA会長を務めさせて頂くことになりました。

初めての経験で、分からない事ばかりでご迷惑をおかけするかもしれませんが、皆様にご指導・ご協力頂きながら精一杯頑張ります。一年間宜しくお願い致します。

体育部長

小島 あゆみ

この度体育部部長となりました、3年小島あゆみと申します。役員の仕事内容など、初めての事ばかりでご迷惑をお掛けする事もあるかと思ひます。分からないなりに精一杯努めて参りますので、今後共よろしくお願い致します。

研修部長

水谷 有里

今年度、研修部長を務めさせて頂くことになりました。先生や役員の方に助けさせて頂きながら精一杯頑張りたいと思ひます。

6月10日(土) 芸術鑑賞会
11月15日(水) 人権講演会
を予定しております。

研修部一同、無事に開催出来るように協力して活動させて頂きたいと思ひます。どうぞ1年間宜しくお願い致します。

環境美化部長

加藤 雅

今年度、環境美化部長を務めさせて頂くことになりました。

分からないことばかりなので、ご迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、先生方や役員の皆さまにご指導頂きながら頑張りたいと思ひます。

年2回の奉仕活動を予定していますので、お力添えの程よろしくお願い致します。

1年間、宜しくお願い致します。

広報部長

森 沙希

今年度、広報部長を務めさせて頂くことになりました。初めてのことで不安もありますが、広報部や本部役員の皆さんのお力を借りて精一杯努めて参ります。

今年度は「広報いそじま」は年2回を予定しております。

1年間よろしくお願い致します。

広報いそじま

令和5年度 第1号 5月発行 伊曾島小学校 PTA広報部



ほめられるためにやっているわけではない

校長 山本 太郎

3年生の担任の先生がこどもから「ほめられるためにやってるんじゃない」と言われたと話しているのを聞いて衝撃を受けました。子どもはほめないと努力しようとし、大人は自分の利益になることしかしない。という先入観があったので、「ほめられるためでない」ことをはたして自分には出来るだろうかと思ひました。趣味やスポーツなど自分がやりたいことはほめられなくてもやるかも知れません。しかしそれさえも、ひとから上手だとほめられたいという気持ちがあるように思ひます。自分がやりたくないことならなおさら、ほめられもしないのにやろうという気持ちにはならないのではないのでしょうか。

ひとは何のために行動するのか、わたしは自分の時間を①家族のため②自分のため③仕事のため、の3つに分けてバランスよく使おうと思ひています。仕事と家族とどちらが大事かと言ってどちらかを捨てるようなことは出来ないで、あまりかたよらないようにすることが大切だと思ひています。ただし、究極には①②③の優先順位です。小学生の子どもは①自分のため②家族のため③友達や学校のため、のバランスで良いのではないかと思ひます。そして学

年が小さいほど①の自分のための優先順位が高くて良いと思ひます。まず、自分を大切に自分のことが出来るようになることが最優先です。

わたしが伊曾島小学校の子どもたちに一番優先してやってほしいことは、毎日の授業に一生懸命とくみ学力を高める事です。ただ、その学力というのはテストで高い点数をとるだけの力だとは考えていません。知りたい、わかりたいという意欲を持ってみずから学ぶこと。先生からの一方的な説明で知識を暗記して詰め込むだけでなく、友だちや資料とのやりとりを通した対話的学びから考えを深める力を身につけること。これらを通して生き抜く力を身につけることです。

ほめられなくても学校の授業に一生懸命とくむ事が出来たら素晴らしいと思ひます。とはいうもののこどもは(おとなも)がんばったらほめられたいと思うでしょうし、ほめてあげたいなと思ひます。伊曾島小学校の一生懸命授業に取り組んでいる子ども達をガンガンほめて勇気づけていきたいです。

保護者と学校そして地域が協力する窓口がPTAだと考えます。協力して子どもをほめまくりましょう。



大好きな伊曾島っ子とともに

教頭 八島 有紀子

「命より大切なものはありません」避難訓練のたびに、学校長が子どもたちに伝えている言葉です。

大きなふたつの河川に挟まれた伊曾島地区では、大地震の際、津波避難を真っ先に考える必要があります。休日や放課後に大地震が起こった場合、自宅でおうちの方の帰りを待っている、自分の命を守ることができません。

昨年度、私は「3.11被災地視察研修」に参加しました。4日間にわたり、東北の被災地で多くの事例を知り、命を守る教育について学んできました。

帰ってから、3年生以上の子どもたちには、津波避難についての授業もさせていただきました。5年

生社会科では、災害時の避難経路や避難方法について、グループで話し合う授業が行われました。また、三重県の防災教育推進事業に申し込み、ゲストティーチャーを招いて、液状化実験をしたり、地震体験車で阪神淡路大震災の揺れを体験したりしました。今年度は内容を少し変えて、家具固定体験も行う予定です。

ピカピカの1年生20名を迎えて、全校児童数162名となった伊曾島小学校。大好きな伊曾島っ子たちが、災害時に自分で考えて避難行動をとることが出来るように、今年も命を守る教育を大切にしていきたいです。どうぞよろしくお願い致します。